



芦屋「九条の会」ニュース

発行責任者：片岡隆 連絡先 090-7118-2312

<http://ashiya9.web.fc2.com/>

今秋、安倍「戦後最悪」政権の 改憲策動を封じ込めよう！

第196回通常国会が7月22日に閉会しましたが、数々の虚偽、ねつ造、国有地取引公証記録の意図的廃棄、加計問題への首相関与の新証拠、防衛省が存在否定の陸自イラク日報発見、そして、「働かせ方改革」関連法案、カジノ法案、参議院定数6増法案の強行採決等々、悪政・暴政の連続であり、またまた「戦後最悪」更新政権です。

13周年記念行事「グローバル時代を生かす日本国憲法」

「働かせ方改革」関連法案が成立した翌日の6月30日（土）に、芦屋「九条の会」13周年記念行事として、浜矩子さんの講演会をルナ・ホールにて開催しました。当会としては最多の500余名の参加者でした。浜さんは、Ⅰ．グローバル時代とはどういう時代か、Ⅱ．なぜ日本国憲法がグローバル時代を生かすのか、Ⅲ．日本国憲法の観点からのアホノミクスの大罪、の三つの柱で語りかけました。Ⅰの「グローバル時代とは」①誰も一人では生きていけない時代であり、②誰も一人では突出できない時代であると。したがって、歴史上、いまだかつてなくいい時代となる可能性を持った時代である、と浜さんは述べました。Ⅱについては、憲法前文を「まるでグローバル時代が来ることを想定していたかのごとき内容」と評し、特に次の3点、★「諸国民との協和による成果」、★「平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、我らの安全と生存を保持しよう」と決意した、★「自国のことのみ専念して他国を無視してはならない」に注目。これらは大いなる今日的メッセージ性を持っているというお話を聴いて、前文に一举に生命が吹き込まれた気がしました。Ⅲについては、「アホノミクスは憲法問題から目を眩ますための煙幕ではない。21世紀版大日本帝国のための根幹である。GDPを増大させ軍事費の拡大を目指している」との指摘に「なるほど」。「今、もっとも問いただすべきこと」は「君の名は？」（ネーミングに騙されるな）。たとえば、働き方改革⇒働かせ方改革、人づくり革命⇒お国のための人間大改造、一億総活躍⇒一億総動員、であり、「敵の言葉で語らないこと」の大切さを力説。講演後の質疑応答も多数の質問の一部でしたが、浜さんが的確に応答してくださりととても好評でした。（裏面に続く）

